

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月30日

上場会社名 ニッポン高度紙工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3891 URL <http://www.kodoshi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎮西 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 溝渕 泰司 TEL 088-894-2321  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,700	1.7	505	29.3	704	23.5	504	79.4
26年3月期第3四半期	9,536	22.7	391	—	570	—	281	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 605百万円 (46.3%) 26年3月期第3四半期 413百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	46.91	—
26年3月期第3四半期	26.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	25,198	13,716	54.4
26年3月期	24,564	13,304	54.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,716百万円 26年3月期 13,304百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	5.3	700	92.1	660	26.9	450	86.8	41.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	10,953,582株	26年3月期	10,953,582株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	196,421株	26年3月期	196,361株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	10,757,194株	26年3月期3Q	10,757,301株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州景気が依然として低迷し、中国などの新興国においては景気の減速感が強まった一方、米国では個人消費の拡大が景気を牽引するなど、国・地域間でのばらつきはあるものの、米国を中心に緩やかな景気回復を維持いたしました。

わが国経済は、アベノミクス効果や日銀による金融緩和などにより、企業の景況感は引き続き改善した一方、個人消費については消費税増税後の落ち込みからの回復の足取りが鈍く、全体としては弱含みで推移いたしました。

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界におきましては、カーエレクトロニクス関連、スマートフォン、タブレット端末、エアコンなどの白物家電等が堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社セパレータ事業は、コンデンサ用セパレータにおいては車載向けが期を通じて堅調に推移しており、またエアコンなど白物家電向けの受注も上期を中心に堅調な動きがありましたものの、第3四半期は全般に調整基調で推移いたしました。電池用セパレータにおいては、省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタ向けおよび同車両や定置蓄電用などに使用される大型リチウムイオン電池向けが好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,700百万円（前年同四半期比164百万円、1.7%増）の実績となりました。

利益面につきましては、円安などで原材料等のコストは増加いたしました。稼働率の向上や減価償却費負担の軽減などもあり、営業利益は505百万円（前年同四半期比114百万円、29.3%増）、経常利益は為替差益215百万円の計上があり704百万円（前年同四半期比133百万円、23.5%増）、四半期純利益につきましては504百万円（前年同四半期比223百万円、79.4%増）の実績となりました。

当第3四半期連結累計期間の主要事業の状況につきましては、次のとおりであります。

#### [セパレータ事業]

セパレータ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は9,686百万円（前年同四半期比596百万円、6.6%増）、営業利益は729百万円（前年同四半期比162百万円、28.7%増）の実績となりました。

##### ・コンデンサ用セパレータ

車載などの低圧品向けおよびエアコンなど白物家電用インバータ等の中高圧品向けが上期を中心に堅調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,722百万円（前年同四半期比299百万円、4.0%増）の実績となりました。

##### ・電池用セパレータ

省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタ向けおよび同車両や定置蓄電用などに使用される大型リチウムイオン電池向けが引き続き好調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,963百万円（前年同四半期比297百万円、17.8%増）の実績となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産の減価償却実施等がありましたが、売上債権の増加、原材料及び貯蔵品の増加、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ633百万円増加し、25,198百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金の約定返済等がありましたが、短期借入れおよび長期借入れの実施等により、前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、11,482百万円となりました。

また、純資産は、前期決算に係る利益配当ならびに中間配当の実施等があるものの、四半期純利益504百万円を計上したことによる利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ411百万円増加し、13,716百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日「平成26年3月期 決算短信」において公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。なお、今後様々な要因によって連結業績予想を修正する必要がある場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

これによる当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,498,443	1,360,220
受取手形及び売掛金	3,487,394	4,367,242
商品及び製品	1,527,147	1,492,826
仕掛品	6,320	—
原材料及び貯蔵品	2,463,098	2,930,804
繰延税金資産	148,200	60,522
その他	113,450	180,299
貸倒引当金	△6,958	△8,614
流動資産合計	9,237,097	10,383,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,880,660	3,742,789
機械装置及び運搬具(純額)	6,899,233	6,948,445
土地	2,161,745	2,113,973
建設仮勘定	554,375	168,491
その他(純額)	319,439	289,994
有形固定資産合計	13,815,453	13,263,694
無形固定資産	30,471	27,182
投資その他の資産		
投資有価証券	419,726	471,019
繰延税金資産	668,308	657,240
その他	414,489	416,909
貸倒引当金	△21,000	△21,000
投資その他の資産合計	1,481,524	1,524,170
固定資産合計	15,327,448	14,815,047
資産合計	24,564,545	25,198,348

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685,145	490,000
短期借入金	1,622,424	2,888,402
1年内返済予定の長期借入金	1,908,480	2,019,988
未払金	806,368	900,246
未払法人税等	112,921	83,825
賞与引当金	—	67,900
設備関係支払手形	1,789	—
設備関係未払金	303,763	215,349
その他	612,541	362,465
流動負債合計	6,053,434	7,028,177
固定負債		
長期借入金	3,920,066	3,195,073
繰延税金負債	22,983	16,915
役員退職慰労引当金	239,100	247,027
退職給付に係る負債	1,024,353	994,807
固定負債合計	5,206,502	4,453,823
負債合計	11,259,937	11,482,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,241,749	2,241,749
資本剰余金	3,942,363	3,942,363
利益剰余金	7,491,721	7,802,688
自己株式	△165,363	△165,447
株主資本合計	13,510,471	13,821,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,274	70,385
為替換算調整勘定	44,279	75,150
退職給付に係る調整累計額	△278,416	△250,543
その他の包括利益累計額合計	△205,863	△105,007
純資産合計	13,304,608	13,716,347
負債純資産合計	24,564,545	25,198,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,536,816	9,700,946
売上原価	7,891,940	7,905,310
売上総利益	1,644,875	1,795,635
販売費及び一般管理費	1,253,645	1,289,717
営業利益	391,229	505,917
営業外収益		
受取利息	2,985	2,630
受取配当金	6,539	6,927
為替差益	157,573	215,338
助成金収入	41,200	664
その他	13,279	8,007
営業外収益合計	221,578	233,568
営業外費用		
支払利息	29,838	24,971
その他	11,977	9,589
営業外費用合計	41,815	34,560
経常利益	570,992	704,925
特別利益		
固定資産売却益	1,020	500
受取補償金	—	16,460
投資有価証券売却益	1,065	—
特別利益合計	2,085	16,960
特別損失		
災害による損失	—	15,401
投資有価証券評価損	93,872	—
特別損失合計	93,872	15,401
税金等調整前四半期純利益	479,205	706,484
法人税、住民税及び事業税	51,121	133,938
法人税等調整額	146,807	67,950
法人税等合計	197,929	201,889
少数株主損益調整前四半期純利益	281,276	504,595
四半期純利益	281,276	504,595



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	281,276	504,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,912	42,110
為替換算調整勘定	39,554	30,871
退職給付に係る調整額	—	27,873
その他の包括利益合計	132,467	100,855
四半期包括利益	413,743	605,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,743	605,451
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	9,090,043	446,772	9,536,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,090,043	446,772	9,536,816
セグメント利益又はセグメント損失(△)	566,783	△84,631	482,152

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、超薄型フレキシブル基板の販売、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	566,783
「その他」の区分の損失(△)	△84,631
全社費用(注)	△90,922
四半期連結損益計算書の営業利益	391,229

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	9,686,575	14,370	9,700,946
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,686,575	14,370	9,700,946
セグメント利益又はセグメント損失(△)	729,699	△111,699	617,999

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソクシール(耐熱性接着剤、カバーレイインク)、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	729,699
「その他」の区分の損失(△)	△111,699
全社費用(注)	△112,081
四半期連結損益計算書の営業利益	505,917

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。